

第201回 令和8年4月1日（水）

「令和8年度の最初の校長通信です。」

川和高校の皆さん、そしてHPをご覧いただいている皆さん、川和高校校長の藤元貴嗣と申します。昨年校長通信を毎日HPにアップして、200回を数えました。今年も川和高校で引き続き校長として皆さんの活躍を見ることができるのが本当に楽しみです。

私はこのコラムで語りたいことをたくさん文章にしてきました。この校長通信はいつ読んでいただいても構いません。何か皆さんの生きるヒントになればうれしいと思います。ですがそれほど堅苦しいことを書いているわけではありません。

さて春は「出会いと別れ」の季節と言われています。実はほとんどの場合これは逆です。春に限って言えば「別れと出会い」の季節と言うほうが正しいと思います。

多くは3月に別れを経験します。卒業であったり、異動であったり、寂しさや切なさが募る時期でもあります。でも4月には新しい出会いがすぐに始まります。慌ただしくスタートして別れの悲しさを感じている暇もありません。

気がつくと3月までの生活が懐かしく感じるようになり、遠い昔になります。私も学校で働いているからか、新しい職場に移るときなど1月から3月までの記憶はあっという間に思い出になってしまいます。

皆さんはこれから「別れと出会い」を何回、何十回と繰り返します。そしてほとんどの人は再会することもなく、新たな出会いの中で忘却されていきます。

二度と会わない人がたくさんいるからこそ、大事にしてほしい言葉があります。それが「一期一会」です。

これからもきっと会えるだろうと思っていても、人の縁というのは儚いもので、実は一生会うことがない人もいます。だから今日の縁を大事にしてください。別れるとき、一生会うことがないと思うことは少ないと思います。でももしかしたらこれが最後なのかもしれないと思って相手との縁を大切にす、それが自分の人生を大事にすることにもつながります。

新しい学校、新しい学年、新しいクラス、様々な仲間とたくさんの出会いがあります。「一期一会」で相手を大切にすると、きっと良いことがありますよ。